

# 天遊

大阪教育大学 広報誌

VOL.1 2004. SPRING

国立大学法人大阪教育大学のご紹介

研究の現場で

ことばを考える

地域と大学と  
教育委員会との連携について

学ぶ・育つ・知識の森

# 「国立大学法人大阪教育大学」の 発足にあたって



学 長  
**稲垣 卓**

(略歴) 1943年生、京大物理学部卒、京大大学院理学研究科修士課程修了、理学博士。大阪教育大学・教養学科長、副学長を歴任。専門は物理学(固体光物性)。

大阪教育大学は、平成16年4月1日をもって国の行政組織から独立し、国立大学法人大阪教育大学に生まれ変わりました。新たな法人制度のもとで、本学は、大学としての自主性・自律性を高め、個性ある大学づくりに取り組みでいくこととなります。また、学長を中心とする役員会のもと、学外有識者の参画を得ながら経営方針を立て、大学を運営していくこととなります。

本学は、大阪の地にあつて、学校教育を中心とする教育者の育成を主たる目的とする大学として、その役割を果たしてききました。その一方で、学術と芸術を幅広く探求する大学として、数多くの実績を積み重ねてきました。これからも、これら2つの使命を担う大学として、社会と国民の期待に応えていきたいと考えています。

本学では、これからも、様々な世代の学生や様々な地域からの学生を迎え入れ、知的刺激に満ちた確かな教育を

とおして、自ら学び自ら探求できる能力を備えた人間性豊かな人材の育成に努めていきたいと考えています。また、研究にあつては、学校、市民、地域、産業、海外との対話と交流をとおして、広く現代の地球社会の課題に目を向けながら、社会の共感が得られる研究成果を挙げていきたいと考えています。

21世紀を迎え、我が国の社会は、大きな転換期を迎えています。子どもたちの育ちと学びを支える教師の力、学校の力の重要性が実感されています。また、潤いある人間生活、知性や教養の復活は、世代を超えた渴望となっています。本学は、このような課題に目を向けながら、これまで以上に、地域の皆様とその存在を分かち合える大学をめざしていきます。

多くの皆様からの新生「国立大学法人大阪教育大学」へのご支援とご声援をお願いし、大学の新たな門出にあつてのご挨拶いたします。

## 国立大学法人大阪教育大学の役員のご紹介

### 監事【業務監査担当】



**下谷 昌久**  
(しもたにまさひさ)

大阪大学経済学部卒  
元大阪ガス株式会社代表取締役・副社長  
元株式会社オービス総研代表取締役会長  
大阪ガス株式会社顧問

### 理事【財務・経営担当】



**福岡 美彦**  
(ふくおかよしひこ)

大阪市立大学文学部卒  
元産経新聞社会部記者  
元株式会社京都新阪急ホテル代表取締役社長  
大阪教育大学運営諮問会議委員(2000.4~2004.3)

### 理事【教務・学生担当】(副学長)



**長尾 彰夫**  
(ながお あきお)

大阪教育大学教育学部卒  
大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学  
文学修士、専門は教育学(教育方法学)  
大阪教育大学・副学長(2002.6~)

### 監事【会計監査担当】(非常勤)



**西 育良**  
(にし やすひろ)

東京大学経済学部卒  
監査法人トーマツ代表社員  
独立行政法人文化財研究所監事  
社団法人大阪府看護協会監事

### 理事【総務・企画担当】(事務局長)



**中岡 司**  
(なかおか つかさ)

京都大学教育学部卒  
北九州市企画・学術振興局長  
文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長  
大阪教育大学事務局長(2003.7~)

### 理事【評価・情報担当】(副学長)



**栗林 澄夫**  
(くりばやしすみお)

富山大学文学部卒  
大阪大学大学院文学研究科修士課程修了  
文学修士、専門は文学(ドイツ文学)  
大阪教育大学・副学長(2002.6~)

国立大学法人大阪教育大学では、大学改革の「目標」を設定し、目標達成のための具体的な「計画」を立て、これを着実に実施することによって、教育研究活動の向上や大学の個性化に取り組むことになります。これらの目標・計画は、6年間にわたって設定されることから、中期目標・中期計画と呼ばれています。本学では、中期目標・中期計画案を作成し、新たな大学づくりへの取組みを進めています。

### 中期目標のハイライト

#### 【大学の基本的な目標】

大阪教育大学は、教員養成の基幹大学として、我が国の教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命とする。

#### 【教育の成果に関する目標】

豊かな感性や人間性、批判的な思考力、高い人権意識、総合的な判断力を養うとともに、IT活用能力や外国語運用能力、知的探求の基本的スキルや自己学習の能力を養う。

#### 【大学院学生の受け入れ目標】

強い教職志向を持って専門的な研究意欲を持つ者のほか、明確な将来目標と旺盛な研究意欲をもって研鑽を求める学卒者、現職教員、社会人等を積極的に受け入れる。

#### 【運営体制の改善に関する目標】

学長のリーダーシップのもとで自律性の高い大学経営と学内運営を実現するため、理事の職務分担を明確にし、機能的で効率性の高い運営体制を整備する。

### 中期計画のハイライト

#### 【専門教育の成果に関する具体的目標の設定】

教員養成教育では、教職教養や教科内容についての専門的知識の基礎の上に、学校教員として即戦力になり得る教科指導及び生徒指導の能力、安全意識や危機対応能力、並びに得意分野の育成を目標とする。

#### 【卒業後の進路等に関する具体的目標の設定】

学生の教職意欲を高めるため、正課や課外における就職指導を充実し、学校ボランティアや学校サポーターなど、在学中の学外での学校活動への参加を支援する。

#### 【適切な教職員の配置等に関する具体的方策】

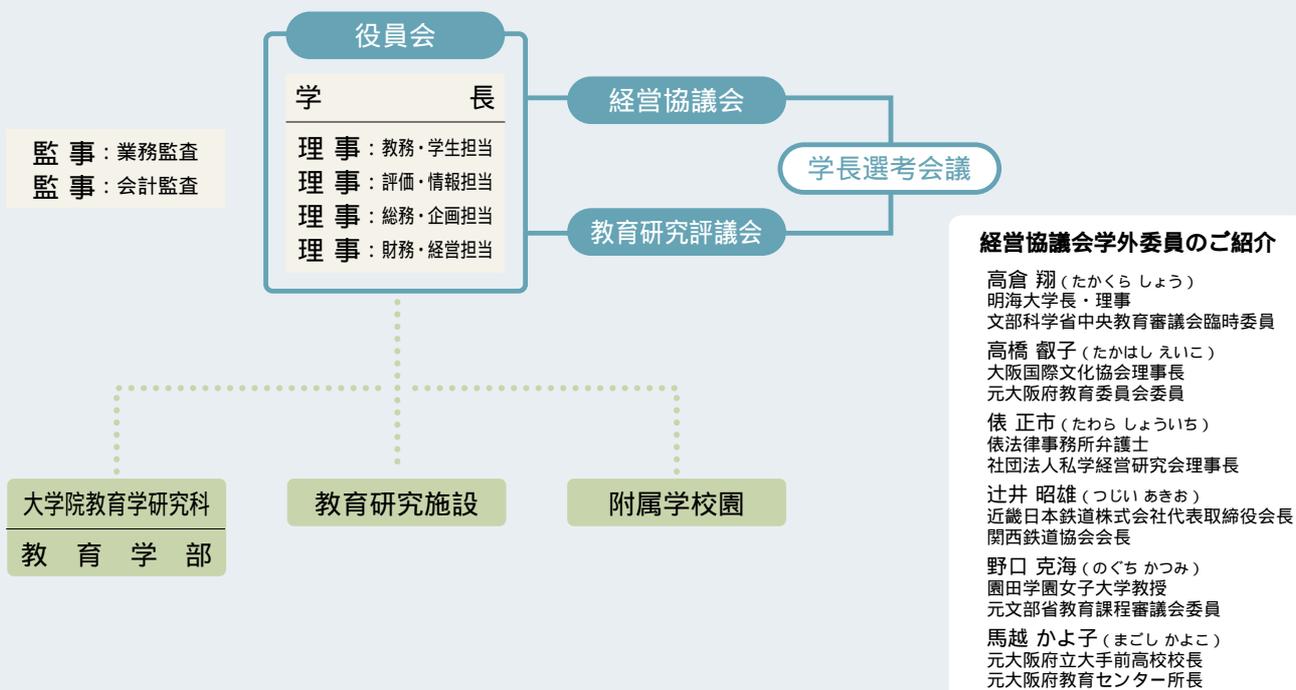
分野ごとの教員配置数を弾力化し、ニーズの高い専門分野を重点的に強化するなど戦略的な教員配置を行う。

#### 【研究の水準・成果の検証に関する具体的方策】

研究活動に関する自己点検・評価を厳正に行うとともに、研究活動についての外部評価を実施する。また、教育委員会、学校関係者、企業関係者等による研究フォーラムを開催し、研究の水準・成果を検証する機会を設ける。

## 国立大学法人大阪教育大学の運営の仕組み

国立大学法人大阪教育大学には、役員として学長、理事4名、監事2名が置かれます。大学は、学長を中心とする役員会のトップマネジメントによって運営されます。経営に関する重要事項は、経営協議会(学外委員6名、学内委員6名で構成)に、教育に関する重要事項は、教育研究評議会(学内評議員22名で構成)に諮られます。



精力的な教育研究活動を展開している教授陣の中から、おふたりの研究室を訪問し、その活動の一端をわかりやすく語っていただきました。



教員養成課程 学校教育講座 教授

## 藤永 芳純

藤永教授は、一昨年度から文部科学省によって全国の児童・生徒全員に配布されている『心のノート』の編集委員をはじめ、学習指導要領（道徳）の改訂委員、大阪府学校教育審議会委員等の要職を歴任、道徳教育の実践に意欲的に取り組んでいます。

# 道徳の教養を身につけ

# 人間形成も図ります

はないように、たとえ薄く見える言みでも、着実に積み重ねていくことが大切なのではないでしょうか。

## 日本で唯一のコース

道徳教育学コースは、道徳教育に関連する教養を身につけ、道徳教育で卒業論文を書いて卒業するという、日本の大学で唯一のコースです（たぶん間違いない?!）。平成16年3月に、最初の卒業生（第1期生）が出生した。道徳授業がきちんとできるということですから、教育委員会からは歓迎されること間違いなしです。採用にも有利か（でも1次試験は自力で合格しなくては）!!

優秀な教員であるための資質や指導技術を育てることが本コースの目標ですが、教員養成というだけではなく、学生個人が人間として成長・発達していくことも大切なことですから、欲張りなようですが、人間形成を同時に目指しています。

## 道徳教育は何をするのか

目標は道徳性の育成ですが、もう少し具体的に言えば、まず「社会性（社会適応の能力）」を、そして「普遍性（人間として生きる方を追求する能力）」を育てることだと考えています。社会性と普遍性の両方がそろって、はじめて道徳性ということができます。

言い換えれば、「社会を構成する人間として、自分で自分を支える力」を一人一

人が身につけることを目指して、大人も子どもも互いに育ちあうことを総称して道徳教育ということができると思います。

## 子どもの問題行動に 対応できるのか

たとえば、中学1年生が問題行動を起こしたとして、その子は12年かけてそこに至ったとすれば、もとのゼロの状態に戻すためには、同じ12年かかるということになりませんか。まあ、実際にはもっ

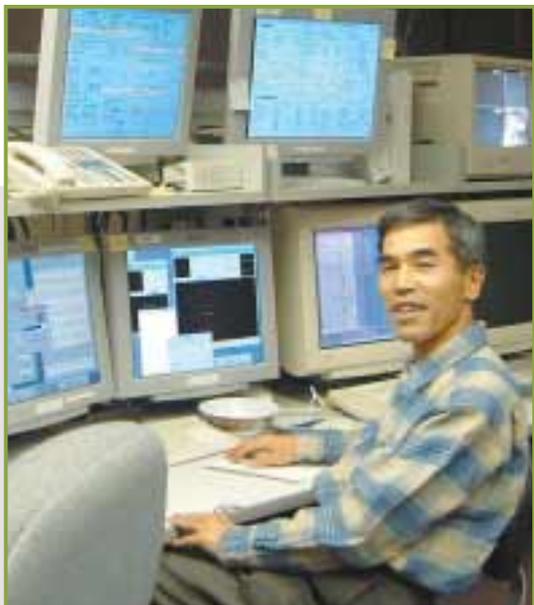
と短くてすむかと思いますが、でもその程度の覚悟が必要だと思いませんか。不登校にしても、ある日突然に学校に行けなくなったということではなくて、そういう具体的な行動が起きる以前に、何らかの兆候があったはずですよ。突発的な行動のように見えても、そこに至るにはやはり道りがあるのではないのでしょうか。そうすると、時間のかかる子どもの成育の過程において、自分を生かし他者を生かすための、自分で自分を支える力を自分自身が獲得していく営みが重要だということになります。それをやろうとしているのが道徳教育です。

即効性（すぐに子どもの行動が改まる）を道徳教育に期待されてもつらいのですが（全然できないとも言えませんが、人間は一夜にして変わることもありませんから）、でも、薄い1枚のティッシュ・ペーパーでも200枚になると、ちゃんとした厚みがあって簡単に千切れるもので

## 大阪の空でも星雲が見える 銀河も見える

### 観測に良好な環境 柏原キャンパス

本学の柏原キャンパスは、広い空間に恵まれ、初夏には研究室にまでホトトギスの声が聞こえる良い環境にあります。天文観測にとってもなかなか良い場所です。1994年春に完成した口径50cmの反射望遠鏡とCCDカメラを使えば、肉眼で見える一番暗い星より1万分の1の明るさしかないような暗い天体を楽々と観測できます。



### 教養学科自然研究講座教授

### 定金 晃三

定金教授は、ハワイ島マウナケア山頂にあるすばる望遠鏡で使う大型分光器の設計に参画し、現在は、それを使って系外銀河の非常に暗い星の観測を行うなど、精力的な研究活動を行っています。

大学構内にいつでも自由に使える望遠鏡があれば、機動性を活かして有意義な研究活動が行えます。例えば、1995

年冬にNGC2962という銀河で起きた超新星(星の一生の最後の瞬間に起きる大爆発)を、発見直後から100日あまりの期間、追跡観測しました。明るさの変化を詳細に記録した我々の論文は、1a型超新星の極大の明るさと宇宙の距離尺度の関係を述べた論文の中で、代表的な観測例の一つとして採用されています。

### 全地球望遠鏡にも参加

最近、時間変動の激しい天体を詳しく研究するため、24時間切れ目なく明る

惑星状星雲メシエ27



銀河NGC891



土星



写真は学内の50cm望遠鏡で観測・撮影した画像です

### 教育上大切な観望体験

その変化などを追跡する観測キャンペーン(呼びかけ)がしばしば行われます。そのためには、経度が異なる場所にある天文台が世界中で協力し、同じ天体を取りしながら観測する仕組みを作る必要があります。このようなやり方は、地球全体を一つの望遠鏡に見立てるため、全地球望遠鏡と呼ばれることがあります。

2000年夏には、BL Lac)とかけ座BL)という非常に激しい時間変動を示すことで有名な活動銀河核の観測キャンペーンに参加し、10日間の連続観測の成功に貢献しました。このときは20数カ所の地上望遠鏡と宇宙を飛ぶX線観測衛星が参加。この不思議な天体の謎の解明が進んでいます。

このような観測を経験した学生の中から、大学院に進学後、博士の学位を取得し、プロの天文学者になった人が何人も出ています。

CCDカメラを使って撮影された天体の画像は、加工されてまとめられ、天文教育で使われる教材としても有効に利用されています。4回生の卒業論文として銀河や星雲の画像集が編集され、ウェブ上で公開されて多くの人に利用されています。この望遠鏡は研究観測に使われるばかりでなく、学生実験の一環として天体の観望にも供されます。接眼レンズを使って季節に応じて色々な天体(月・惑星・星雲・星団等)を見せますが、やはり土星が一番人気なのは今も昔も変わらないようです。「まるで写真が貼り付けてあるみたい」とか、「土星って本当にあるんだ!」初めて直接土星を見た学生は、思わずそんな感想をもらいます。こういう体験は卒業後も長く記憶に残るらしく、やはり本物を見る実物体験は教育上大事なことだと感じています。

# ことば

## を考える

### 方言ゼミという世界

日本語諸方言や若者言葉について意味論・語彙論の観点からのユニークな研究活動を展開している方言（現代語）ゼミをご紹介します。



井上博文  
教員養成課程 国語教育講座 教授

井上教授は、現在、学校現場と連携して、子どものコミュニケーション能力の育成方法の開発に取り組んでいます。

### めざすこと

「良き教師」とは、社会の一員として、教育に関わる専門的な職業人の立場からしっかりと社会を支える自律的な「大人」ではないだろうか。教育に関する専門的な知識と技能、新時代の知識や技術を修得できる基礎的な教養と柔軟さ、問題を解決する実践力、確実な人間関係を構成する「人間力」等々を、授業やゼミ活動を通して学生たちと一緒に身につけていくことに心している。

### 卒業論文・修士論文の作成

研究室方言ゼミでは主に方言や若者ことばを対象にして、その生態とはたらきを解明するために実証的な研究活動を行なっている。学生は、自主的にテーマを選び1年間をかけて論文の作成を行う。文献を博覧し、読み込み、自分の課題を研究史の中に位置づける。目的に即した調査方法を試行錯誤しながら考える。そして調査を実施し、得られた資料を基に考察を加えて論文を仕上げしていく。

論文作成への取り組みは、構想力、取材力、論理的な思考、文章力など専門的な職業人として求め

られる総合的な力を鍛えていく。なによりも調査時の人との邂逅は他者との出会いの大切さを知り、感謝の念を身に刻む。

### 日本語諸方言の臨地調査

方言ゼミでは夏期休暇を利用して、方言調査を実施している。ここ数年は人の性格や行動癖を表す方言性回語彙の体系性と地域性の解明を目的に、福井県越前町、岐阜県上八幡町、福井県高浜町、三重県熊野市をフィールドとした。学生たちは、まず調査の目的と方法の検討、調査票の作成、宿泊の手配などの調査の事前準備を周到に行う。調査の場では教示者を探して、真摯に話者の方言を聴き取る。研究ミーティングは深夜に及び、こうして得られた資料を整理し分析をなしてまとめ、発表する。彼らは、方言という日本語の現実態に出あい、言葉の深さと豊

### 方言ゼミ歌壇

方言ゼミでは季節の折々に、日本文化の伝統的な定型詩である短歌を詠む場を設けている。たおやかに繊細にうつろつ心を見つめる営みは感性を豊かに拓く。ここに学生の作品をいくつか紹介する。

真つさらの  
背より大きなランドセル  
夢をたくさん詰めておくれ  
燭（新学期）

這いでて  
鳴けどわめけど日は暮れる  
七日ばかりかはかなき運命  
菅原（蝉時雨）

待ち切れず  
はしゃぐ子供ら見送って  
いならぶ机しばしのお休み  
久保田（夏休み）

### 職場（持ち場）を守る人材

専門的な知識や技能は当然のこととして、連絡と報告の徹底、挨拶、言葉遣い、礼儀など職業人・社会人として当たり前のことが当たり前前にこなせ、己の持ち場（職場）を守り抜き伸長させる能力を有する者を社会に送り出したいと願っている。



# 地域と大学と

教育委員会との連携

大阪教育大学に期待すること

## 大阪府教育委員会が求める教員像

大阪府教育委員会教育長

竹内 脩



教員は、「子どもが大好き」であることが大前提ではありませんが、それだけで優れた教育実践ができるものではありません。教員には、子どもたちの日々の成長に心を傾け、その発達過程において発信する様々なシグナルを的確に捉え、それを受け止め指導できる深い教育的愛情と専門性が求められます。そして、教育者としての揺るぎない情熱をもって、機を逸することなく子どもたちに寄り添い、子どもたちに語りかけ、問題を解決していく実践力を身につけなければなりません。

もちろん、このような実践力は一朝一夕には身につくものではなく、実際の教育現場での日々の実践の中から積み上げていく

ものであります。しかし、これから教員をめざす学生には、学生時代にできるだけ子どもたちと関わり、学校の取組みにも触れながら、自ら「教員になる」という意識を持って、問題意識を高め、教員としての資質を培っていただくことが重要であると考えています。

教員の仕事は、一人ひとりの子どもが活躍し輝ける舞台を演出することです。その役割を担う教員の養成については、さらに大阪教育大学とも連携を重ねながら、私も教育長として、子どもたちと正面から向き合う教員、教育について自分の言葉で熱く語る教員を教育現場へ送り出したいと思っております。

教育実践総合センター 教授

安福 純子

### 大学と地域社会

大学がキャンパス内で研究・教育をするだけでなく、地域に開かれた大学であろうとする試みが最近盛んになってきました。大阪教育大学も、その例にもれません。ここでは、その中から教育委員会との連携による活動のいくつかを紹介いたします。

#### 学校サポート活動

大阪府教育委員会は平成15年から「まなびング・サポート事業」という、教育現場に大学生を派遣する事業を企画して、大阪府内の大学に協力を求めてきました。大阪教育大学はこれを受け、「学校サポート活動」として協力をしています。

大学は学生が教育実習だけでなく、教育現場を経験することが教員養成として意味があると考えています。活動参加希望者は600名をはるかに超えて、さすがに教員を目指している学生ならはることと感じました。学生は、派遣を希望する大阪府下の小・中学校と自ら交渉し、条件が一致した場合は活動を開始します。活動内容は、授業に入って教師の補助をするというものが多くありますが、中には放課後の諸活動もあります。

本学第二部では、これより以前から「インターシップ事業」として大阪市内の小・中学校へ学生を送っていました。

#### 大阪市教育改革フォーラム

大阪市教育委員会は平成15年12月に「教育改革フォーラム」を企画、分科会の助言者に大阪教育大学の教官が協力しました。大阪市内の幼稚園、小学校、中学校での特色ある教育実践の試みに大阪教育大学の教官が参加し、助言し、ともに教育について検討しようとする試みです。

#### 放課後学習チューター

この活動は文部科学省による調査研究事業ですが、大阪府教育委員会が実施の委嘱を受けて大学と教育現場との連携の仲立ちをしています。放課後学習チューターとは、小・中学校の子どもに放課後の学習相談をはじめとした指導をするもので、教員志望者（教員養成大学の学生）を学習チューターとするものです。これは調査研究事業ですので、大学は学生だけでなく教官も派遣しています。

#### おわりに

以上、教育委員会との連携による活動の一端を紹介しました。今後も地域に貢献できる大学としての工夫が一層なされていくと考えています。

もっと独自性を！

### さまざまな体験が 教師となる糧

大学生になり、現在に至るまでさまざまな出来事がありました。理想の講義と違うものがあり、講義に嫌気がさしたことも、教育実習を経て教師になりたいという気持ちが強まったこと。大学で自分のやりたいことが具体化できたこと。ゼミの仲間と教育について語り、考える幅を広げられたこと。アルバイトを通じて、学生から一社会人となって社会性を養えたこと。大学までの出会いを大切に、友人たちと遊んだこと。これらのことを通じて、私は教師になるための力量を培

本質は変わらない

### 格好悪いことは 格好良い？

ある企業で採用担当をしていた友人が言いました。一緒に仕事がしたいと思えるか否か？が採用の究極の基準である。結局、大切なのは個性とそれに基づく人間的魅力なのではないか。

学生時代に少々問題のある同級生が授業中にふざけた真似をしました。定年近い老教師は正々堂々と一喝しました。彼の真摯な態度に我々は迫力を感じ、そして私は大切な何かを学びました。大学は転機にあると言います。しかし、価値あるものの本質が簡単に変わったり

えたと思っています。ここは教育大学です。だから、他の大学にない独自性が今以上に欲しいものです。教育現場に行く機会をもっと増やしたり、一部の講義を少人数講義として、教授、学生間の会話を増やすなど、教育大学ならではの大学にしたいと思っています。



大阪府公立中学校教員内定  
**水野 敦夫**  
[平成16年・小学校教員養成課程卒業]

しないはずだから、流行や思いつきに左右されてはいけないと私は思っています。最後に、母校で学ぶ後輩には自分自身の個性に誇りを持ち、格好をつけるのではなく格好悪く格好良くいて欲しいと思っています。私もドブネズミのように格好良く生きたいと思っています。



九州大学大学院数理学研究院・助教授  
**植田 好道**  
[平成6年卒業・教養学科数理学専攻]

教師にできること

### 「生きる力」を 子どもたちに

いまだバブルの後遺症に追われているわが国の経済、進む国際化や情報化など、今後もしも激しい変化が予想されるこれからの社会においては、教育も例外ではありません。学校卒業後も生涯を通じて、いつまでも学び続けることが必要であり、現在、全国の学校が、学校週5日制のもと、ゆとりとともに特色ある教育を展開しながら、子どもたちに自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育む工夫に努めています。確かな学力、「生きる力」の評価は、当然これまでとは変わってきて

失敗も挫折も大切

### 一番伝えたいことは 達成感です

子どもたちが学校に来るのは1年間で200日程度です。教師は学校生活で子どもとの1分1秒を惜しんで日々を過ごしています。限られた時間の中で私が子どもたちに一番伝えたいことは「やればできる」という達成感です。毎日の授業の中で失敗もふくめて教師自身が挑戦している姿を見せることはどんな言葉よりも子どもにも勇氣と自信を与えたいと思います。そのためには教師自身が何かを一生懸命やってきた経験が大切ではないでしょうか。私自身、大学時代にクラブ活動

ます。子どもたち一人一人の学習状況や課題が明確にわかる絶対評価では、教師は今まで以上に子どもたちをよく見ることが求められ、基準や方法をきちんと整理できなければなりません。「生きる力」は、これから教壇に立つという人々に求められていることでもあるのです。



香芝市立香芝東中学校 校長  
**福本 知則**  
[昭和49年・大学院修士課程修了]

に打ち込んできたことが、現在教師をしていく上でいかに役に立っています。大学は自分さえその気になればどんなことにも挑戦できる場所です。大学時代にこそ、徹底的に何かをつきつめてやることで失敗や挫折とともにやりとげたときの達成感を味わってほしいと思います。



羽曳野市立高鷲南小学校 教諭  
**上本 浩**  
[平成10年・小学校教員養成課程(第二部)卒業]

## より地域に開かれた大学を期待

大阪教育大学が大学制度創設以来の大改革で国立大学法人化され、新しくスタートされますことに敬意を表しますとともに地元市と致しましてご期待申し上げます。

我が国の行政改革の一環として平成11年4月の閣議決定以後、満5年を経て独立行政法人として出発されることになりましたが、法人化に伴い私も大阪教育大学の運営諮問会議の一員として議論に参加いたしました。この間に一定の答申のとりまとめを致しましたが、法人化に伴う運営についての厳しさを認識するとともに新しい発想を取り入れ新たな課題に取り組むべき時代になったことを痛感しております。特に独立法人として公務員的な発想から民間のアイデアを取り入れた開かれた大学として、より一層地域と連携をとりながら地元自治体と協調し特色ある大学づくりを励むべき時代となりました。

大阪教育大学におかれましては、教授の方々は勿論のこと学生の皆様方にも柏原市の諸事業にご協力いただき、その成果が左記の通り具体的に表れてきておりますが、今後とも一層のご指導をお願い申し上げます。

### 「産官学」の取組み

バーチャル産業団地／商工会と連携し市内の産業をインターネット上で紹介

交通バリアフリー基本構想／教育大教授を会長にバリアフリー化構想を作成

キッズスマート／小学生の商業体験

ふるさと柏原健康ウォーク／ぶどう狩り、農業体験、ウォーキング、河内音頭で健康づくり／教育大教授と市民グループの共同研究音楽を通じての福祉、教育関係との交流／福祉施設、小学校など第九コンサート／市民150人・教育大生150人・大学オーストラリア70人

早朝太極拳講座／毎年7ヶ月間開催

市民大学講座／一般・女性・老人対象の3講座を毎年開催



大阪府柏原市長  
山西敏一

## 「良い教師をつくる」ことが使命

子供たちの「学力」「考える力」「学ぶ意欲」の低下は、国際社会における将来の日本の姿に大きな課題を投げかけています。今、産業界は、若年人材の育成や日本産業界の国際競争力という観点から、現状について強い危機感を抱いています。この状況を立て直すのは、やはり「教育」をにおいて外になく、教育の在り方や教師に対する社会の各方面からの要望や期待が高まっています。

「教育の全体は教師である」という言葉の示す通り、大阪教育大学に求められるのは、これからも「良い教師をつくり、世に出す」ことに尽きると考えます。大学法人化にあたっては、改めてそれを大学経営の基本理念として位置付け、その実現に取り組んでいただきたいと思っております。

民間企業においては、経営者は「会社にとってのお客さまは誰か」、「市場の変化にどう対応するか」、「自社製品の良さは何か」といったことを常に考え、将来に向かって、日々判断を迫られています。翻って、これらの課題をこれから大阪教育大学にあてはめれば、大学を選ぶ学生を、卒業生を選ぶ学校現場を、法人存立の基盤である顧客としてとれ、と意識しているか、「教育現場で今何が起きているかを知っているか」、「良い教師とは何か。大阪教育大学出身の教師の強みは何か」といったことが厳しく問われていることとなります。

大阪教育大学には、この度の法人化と社会全体の教育に対するかつてない関心の高まりをチャンスとして、「良い教師づくり」の実績を上げ、社会のニーズに応えていただくことを期待します。新しい広報誌「天遊」が社会に開かれた大学として大きな発信力を持つことを期待しております。



大阪商工会議所会頭  
(大阪ガス株式会社代表取締役会長)  
野村明雄

## 想像すると、楽しくなる

大阪教育大学の重要な使命は、教育養成の基幹大学として、教育界における有為な人材(有為・ゆづい)才能があり、役に立つこと。才能があつて将来大きい仕事をする見込があること( )を輩出することにあります。

そのことに成功する基盤的条件は、有為な青年が競って大阪教育大学に入学してくることであると考えます。入学者選抜の方法論の域を越えて、大学人はそのために何ができるのか想像してみましよう。

中学生や高校生が、あの時の担任の先生は本当に素敵だった。大阪教育大学出身だというから、私も絶対大阪教育大学に進学したい。そのために頑張るぞ。大阪教育大学のA先生の著書を読んで(あるいは講演を聞いて)衝撃を受けた。何がなんでも大阪教育大学に合格してA先生のゼミに入りたい。そのために一所懸命勉強するぞ。...といったような事実があちこちで無数に起(こ)るとよいなと思います。

この間私は、大阪教育大学の場合は委員長として、東京学芸大学では副委員長として、大学の運営諮問会議にかかわってきました。役目をきちんと果たせたかどうかは心もとないのですが、法人化を契機に大阪教育大学がますますその輝きを増すことを祈念し、洋洋たる前途をお祝い申し上げます。



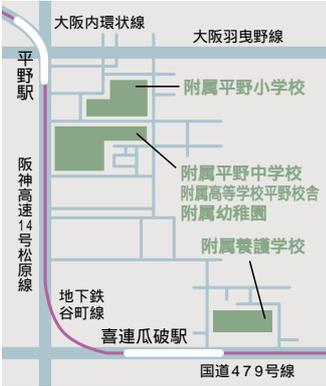
前大阪教育大学運営諮問会議委員長  
(東京大学名誉教授)  
浦野東洋一

## 「生きた知力や知価」を身につけた子どもたちの育成を目指しています

附属平野小学校長 **林 龍平**

本校のルーツをたどると、明治33年4月、大阪市天王寺に開校の大阪府女子師範学校附属小学校にまでさかのぼることができます。今年で103歳になるわけです。現在の大阪府平野に移転したのは昭和2年のことでした。それから七十有余年にわたりこの地で教育研究活動に努めてきました。

本校では、「一人で考え、人と考え、



最後までやりぬく子」をその教育目標としています。21世紀は「知価社会」になると考えられます。すなわち、たくさん知識を身につけることはもちろんのこと、それらの知識を主体的、効果的に利用して自分で問題を見つけ、解決していく力こそが重要になると思われます。そうした「生きた知力や知価」を身につけた子どもを育てていきたいという願いがそこには込められています。

このような意味での知力は、身の回りの多くの人や社会との相互作用を通して獲得されていくものです。そこで本校では早くから、歴史ある平野の町並みを生かした「総合的な学習」の教材・カリキュラム開発にも力を入れてきました。これにより、ともすると地域との接点を失いがちな附属校が、地域住民の方々に自然



に受け入れられ、また多くの地域の方々の学習支援ボランティアとしての参加にもつながっています。こうした成果の一部は、現在府下の多くの小学校に本校の教員を通してフィードバックされつつあります。

また、PTA活動を従来の「奉仕型」から「参加型」へと変化させていく中で、保護者の方々による授業への日常的な参加推進や、学習支援のためのPTA組織作り等も進めています。これらは開かれた学校づくり実現の具体的な手がかりになるのではと期待しています。

### 総合的な学習

教務主任 **外山 善正**

附属平野小学校の総合的な学習は、旧大学跡地を利用した学校ビオトープから始まります。広大な敷地には、池やせせらぎ、草むら、イモ畑、水田などが広がり、子どもたちはそこで生き物をとったり、花をつんだり、作物を育てたりして、学校の自然環境に主体的にかかわる活動を行っています。

また、商店街にキッズマートを出店したり、様々な福祉施設でボランティア体験をしたりするなど、学校のある平野地域の多様な人とかかわる活動を行っています。さらに、TV会議システムを使ったオーストラリア・マニングハム小学校との国際交流は、今年で7年目を迎えました。

本校の子どもたちは、学校から離れた地域から通学する子が多く、友だちや地域、自然とのかかわりが不足しがちです。ですから、本校の総合的な学習では、地域の多様な人や自然と何度もかかわり、よりよいかかわり方を求めて考えを深めていく子どもを育成しようとしています。

### 確かな成長を支える学校づくり

副校長 **萩原 憲二**

本校の教育方針の特徴的なものとして「確かな成長を支える学校づくり」ということがあります。これは、子どもの健やかな成長を支える全ての人が、目指す目標を共通理解し、互いの願いや思いを共有し、目標に進んでいこうとする学校づくりのことで、

この目標の達成のために、教職員間は、言うに及ばず、保護者や地域の学校関係者に対して情報の共有を図っています。これによって学校の教育は、より充実し、保護者は、安心して子どもの成長を見守ることができると考えています。情報の共有は、学校通信、学年通信、PTA広報誌、学校広報誌、HP等の媒体や学年、学級集会等での話し合いによって行っています。

特に教職員間では、校内のLAN上でグループウェアを使って、教育活動の知的な創造活動を支援しています。機能としては、文書のほか画像や音声などあらゆるファイルの共有、電子掲示板、スケジュール共有などがあります。平成15年度から本格的に導入しましたが、教職員が伝達事項や各種書類の送付に使ったり、教材のファイリングやデータベース化等に取り組んだりして効果をあげています。

注)このページの記事は平成15年度に作成しました。



## 留学生の眼

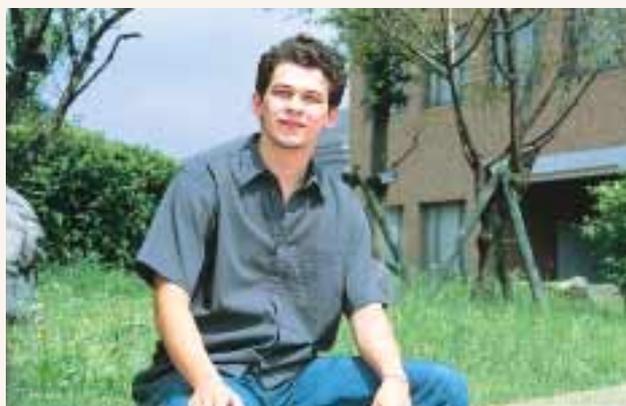
シモンエス アロウド シウヴァさん(ブラジル出身)  
SIMOES, HAROLDO SILVA 大学院芸術専攻 修士課程修了

### 大学に入って消えた言葉の壁。大いに学び、遊ぶことができた6年間でした。

#### 帰国か、残るかで迷った入学前

私は平成9年に来日しました。しかし、はっきり言っておくと、日本での留学に対して強い思いを抱いていたわけではありません。ブラジルで地元の大学の英語専攻に入学し、イギリスへの留学を夢見ました。第2外国語として日本語科目を選んだ故に、奨学金の試験のことを知るようになって受験してみました。合格するとは思っていませんでしたが、受かってしまいました。

日本で美術の勉強を試みた私は、最初の1年間は日本語の勉強に専念しました。ところが、教室外はほとんど日本語を使わず、



上達はあまりできませんでした。帰国するか、我慢するか。大学に進むことを、つまり我慢の道を選んだことは、今振り返ってみると一番良い選択だったと思っています。

#### 日本を知った大学時代が私の誇り

大阪教育大学に入学するまで、私は日本の文化にふれたことがほとんどありませんでした。例外は大相撲だけでした。しかし、大学に入学してすぐに、クラスメートに声をかけられ、初めて日本人の友だちをつくりました。友だちや指導教官に授業選択を助けてもらって、大学生活を順調にスタートしました。まだ言葉の壁が高かったので、大学でも日本語の授業に励みました。けれども今回は机上の日本語だけでなく、大学社会に参加した私は放課後の生活の中でも日本語を使うようになって、友だちから多く学んでいきました。

大学生活といえば、大学祭やクラブなどは大きな存在といえます。1回生のとき、大教大の五月祭に芸術専攻の同級生とゲイBarを開いて、とても楽しく騒ぎました。ブラジルには大学祭がないため、私はだれよりも楽しめたと思っています。クラブにも入り、漫画を描きながら、サッカーをしながら、そしてバイクのツーリングをしながら友だちを増やし、日本のことを知るようになって、日本と恋に落ちました。

そういった楽しい環境の中で、勉強もよくできて学部・大学院の6年間はあっという間に過ぎてしまいました。

日本に来たことは一切後悔していません。実際誇りに思っています。明日はどんな日になるかは知りませんが、どこにいても私は大学時代を人に誇り、日本を称賛するでしょう。



## 推薦図書

### 金子みすゞ童謡集

ハルキ文庫 定価580円+税

近頃の陰惨な少年事件は、日本人全体の心がすさんできている反映かもしれない。穏やかな日本の心とはどんなものか…。思い出したい方にお薦めしたいのがこの本です。

明治末に生まれた金子みすゞは、昭和初期までの26年の短い生涯の中で、「童謡詩」という独特の表現で、日本人の優しく美しい心を謳いあげました。童謡ですから子どもにでもすぐに分かる内容です。理屈っぽいところは微塵もありません。ところが、読んでいくと、いわゆる“みすゞワールド”という不思議な世界に自然と入っていくのです。それは私たちが気ぜわしい現代生活でとっくに忘れてしまっている、なんともいえない心地よい世界です。その中では、あらゆる生き物がお互いに尊敬しあって活き活きと生きています。

任田康夫(教養学科 自然研究講座 教授)



## キャンパス散歩

本学には大阪市内の天王寺キャンパスと山の上の柏原キャンパスがあります。柏原キャンパス周辺には残念ながら、学生街はありませんが、他にないエスカレーターや階段は本学らしさといえるでしょう。近くにお住まいの方でしょうか、ウォーキング・スタイルでの散歩を眼にすることもあります。少しばかり長い階段は格好の運動にもなるのでしょね。登り終えると、澄んだ空気の中に鳥のさえずりが聞こえますし、春先には山菜もそこそこ。豊かな季節感を自然と感してしまう本学キャンパスです。

この階段が、380段であるとも385段であるともいわれます。さて、本当は何段なのでしょう。日本の大学では最も長いエスカレーターの横にある本学の階段。エスカレーターも階段も、自然豊かな本学キャンパスへの入り口です。好きな方をお試しください。

ちなみに、本学の標高は海拔135.29mです。



対象	講座名	実施期間	時間帯	募集人員	開講キャンパス	募集時期
一般市民	授業公開「中国語」	4/13-1/25 (毎週火曜日)	17:45-19:15	10	天王寺	3月17日-3月28日
	授業公開「中国語実用会話」	4/13-1/25 (毎週火曜日)	19:30-21:00	10	天王寺	
	授業公開「ドイツ、旅のことば」	4/13-6/29 (毎週火曜日)	19:30-21:00	15	天王寺	
	書(春)	4/15-7/22 (毎週木曜日)	18:30-20:00	15	天王寺	4月12日-4月23日
	授業公開「造形(デッサン・水彩)」	4/13-7/27 (毎週火曜日)	17:45-19:15	15	天王寺	
	タイ語・入門	5/15-7/17 (毎週土曜日)	16:00-19:15	20	天王寺	
	市民のためのパソコン教室 基礎編A	5/15, 22(土)	9:30-12:00	30	天王寺	
	市民のためのパソコン教室 基礎編B	5/29, 6/5(土)				
	市民のためのパソコン教室 基礎編C	6/12, 19(土)				
	市民のためのパソコン教室 基礎編D	6/26, 7/3(土)				
美術(陶芸入門)	5/22-1/29の土曜日(計15回)	10:30-12:30	15	天王寺	4月19日-4月30日	
美術(陶芸)	5/22-1/29の土曜日(計15回)	13:30-15:30	15			
音楽実技公開講座 声楽を学ぶ人のためのC	5/22, 6/26(土)	10:00-12:30	10	柏原		
音楽実技公開講座 声楽を学ぶ人のためのD	5/23, 6/27(日)	10:00-12:30	10	柏原		
音楽実技公開講座 管楽器(フルート・トランペット)を学ぶ人のための	5/22(土), 23(日) 6/26(土), 27(日)	10:00-16:00	10	柏原		
音楽実技公開講座 弦楽器を学ぶ人のための	5/22(土), 23(日) 7/3(土), 4(日)	10:00-16:00	20	柏原		
楽しいジョギング教室	7/3-9/18の土曜日(計10回)	17:00-19:00	30	柏原		
楽しいダイエット教室	7/16-10/9 (計15回)	10:00-17:00	30	柏原		
美術実技 絵画表現の基礎	8/2(月)-6(金)	13:00-16:00	25	柏原		
電子工作を楽しもう(ラジオ)	8/4(水), 5(木)	10:00-16:00	10	柏原		

対象	講座名	実施期間	時間帯	募集人員	開講キャンパス	募集時期	
一般市民	パソコンで遊ぼう 自分だけの図柄をTシャツにプリントしよう	8/9(月)	10:00-17:00	14	柏原	7月12日-7月23日	
	パソコンで遊ぼう インターネットで情報収集し、パワーポイントでプレゼンテーションしよう	8/10(火)	10:00-17:00	14	柏原		
	書道に親しむ(かな)	8/17-9/21の毎週火曜日	13:00-16:00	20	柏原	7月19日-7月30日	
	普段着で学ぶニュー・スポーツ教室	9/6-17 (計10回)	18:00-21:00	16	天王寺	8月9日-8月20日	
	授業公開(造形 基礎デザイン)	10/2-1/29の毎週土曜日	17:45-19:15	15	天王寺	9月6日-9月17日	
	書(秋)	10/7-2/3の毎週木曜日	18:30-20:00	15	天王寺		
	タイ語・中級	10/9-12/18の毎週土曜日	16:00-19:15	20	天王寺	11月22日-12月3日	
	能楽を楽しもう	12/23(木・祝)-12/25(土)	13:30-16:30	40	天王寺		
	学校教員	国語の力 授業に生きるコミュニケーション力の育成	7/31(土)	10:30-16:20	20	柏原	6月16日-7月4日
		小学校英語を学ぼう!	7/26(月)-28(水)	10:30-16:30	20	天王寺	6月21日-7月2日
小・中学校教員のためのパソコン教室 Excel編		8/26(木)-28(土)	10:00-16:00	30	天王寺	7月5日-7月16日	
障害児教育の現状と課題		10/2, 16(土)	10:00-16:00	20	天王寺	9月6日-9月17日	
高校生		音楽実技公開講座 ソルフェージュ・トレーニング	5/22(土), 23(日) 6/26(土), 27(日)	10:00-12:00	10	柏原	4月19日-4月30日
		音楽実技公開講座 声楽を学ぶ人のためのA	5/22, 6/26(土)	10:00-16:00	10		
		音楽実技公開講座 声楽を学ぶ人のためのB	5/23, 6/27(日)	10:00-16:00	10		
		音楽実技公開講座 ピアノを学ぶ人のためのA	5/22, 6/26(土)	10:00-16:00	10		
		音楽実技公開講座 ピアノを学ぶ人のためのB	5/23, 6/27(日)	10:00-16:00	10		

講習料や実施日程などの詳細は、次のホームページアドレス等で随時お知らせしますので、あらためて御確認ください。http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/llc/ 【問い合わせ先】大阪教育大学生涯学習教育研究センター(TEL 06-6775-6654)

キャンパスのご紹介

天王寺キャンパス



全国で唯一、教員養成の夜間学部があることで知られています。第二部および大学院実践学校教育専攻・大学院健康科学専攻(いずれも夜間)のほか生涯学習教育研究センターや放送大学大阪学習センターなどがあり、成人教育や生涯学習を進めています。各交通機関が集まる天王寺駅から徒歩いで5分ほどと近く、交通の便も絶好です。

柏原キャンパス



金剛・生駒山系の麓に位置し、美しい自然に恵まれた柏原キャンパス。ここでは、教員養成課程棟、教養学科棟をはじめ、附属図書館、寄宿舎など18の建物が集まっています。スポーツ・カルチャー施設も充実しており、そんな静かで健全な教育環境のもとで様々な活動を展開しています。

本誌にご意見をお寄せください

本誌『天遊』は今後の誌面づくりに皆様のご意見を積極的に取り入れていきたいと考えています。ご感想やご意見、本学についてお知りになりたいことなどをお聞かせください。

宛先 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1  
国立大学法人大阪教育大学総務部企画広報課  
TEL.0729-78-3344 FAX.0729-78-3225  
E-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

ホームページ <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/>

大阪教育大学 大学院

サテライト キャンパス

社会の様々な分野で活躍される方々に、科学・文化・芸術に関する多様なアプローチを提供します。

2004年4月  
大阪・中之島に  
オープン

<http://www.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/s/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



アロマフリー型大豆油インキを使用しています。